



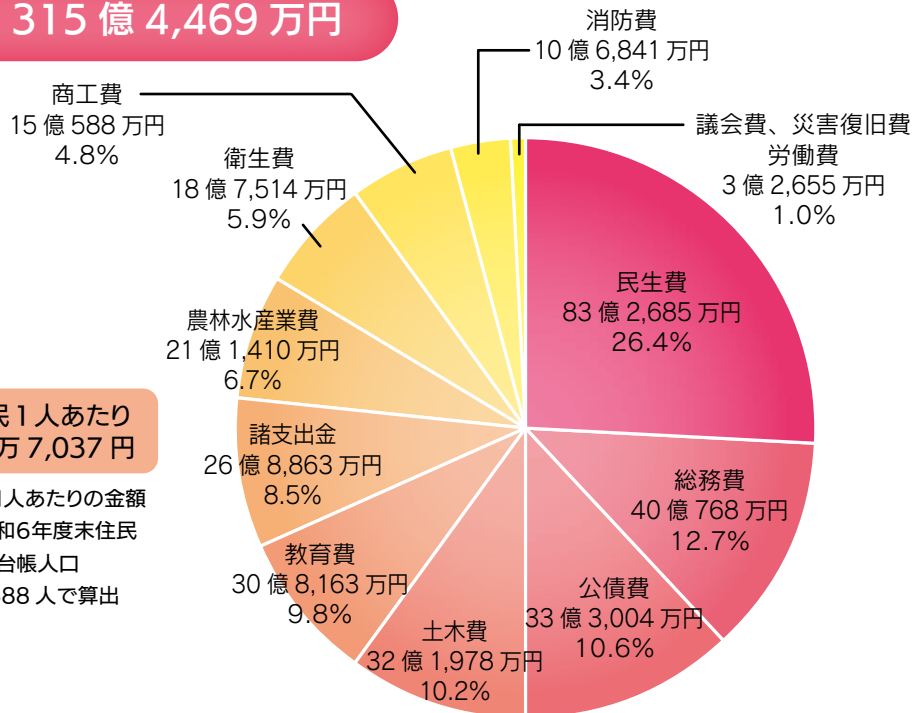
詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページをご覧ください。

令和6年度 決算状況報告

歳出 315 億 4,469 万円

市民1人あたり
72 万 7,037 円

※市民1人あたりの金額
は令和6年度末住民
基本台帳人口
43,388 人で算出



市債残高 314 億 6,595 万円

施設整備など大規模な事業を行う際に、銀行等から借入れた市の「借金」です。(前年度比4億 9,067 万円減)

市民1人あたり
72 万 5,200 円

基金残高 131 億 2,409 万円

特定の目的のために資金を積み立てたり、運用したりする市の「貯金」です。(前年度比1億 5,712 万円減)

市民1人あたり
30 万 2,500 円

特別会計 (単位：万円、%)

会計	歳入		歳出		基金残高		市債残高	
	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率
国民健康保険 (保険事業)	603,437	-3.8	600,077	-1.9	47,059	21.2	0	-
国民健康保険 (直営診療所)	14,000	-19.3	14,000	-19.3	0	-	9,107	-8.6
後期高齢者医療	92,504	5.2	89,838	5.7	0	-	0	-
介護保険 (保険事業)	532,628	4.1	515,718	3.0	54,327	-9.6	0	-
介護保険 (介護サービス事業)	3,388	-25.3	3,388	-25.3	0	-	0	-
土地開発事業 (企業団地)	3,537	2.0	132	-55.1	0	-	0	-
産業廃棄物最終処分事業	10,264	35.8	5,538	19.7	68,113	-8.0	0	-
国民宿舎事業	2,291	-13.3	2,282	-11.4	11,689	18.0	0	-

企業会計 (単位：万円、%)

下水道	決算額	増減率
収益的収入	227,289	-1.6
収益的支出	222,452	1.4
資本的収入	198,567	9.6
資本的支出	279,860	7.2
企業債残高	2,418,942	-1.7

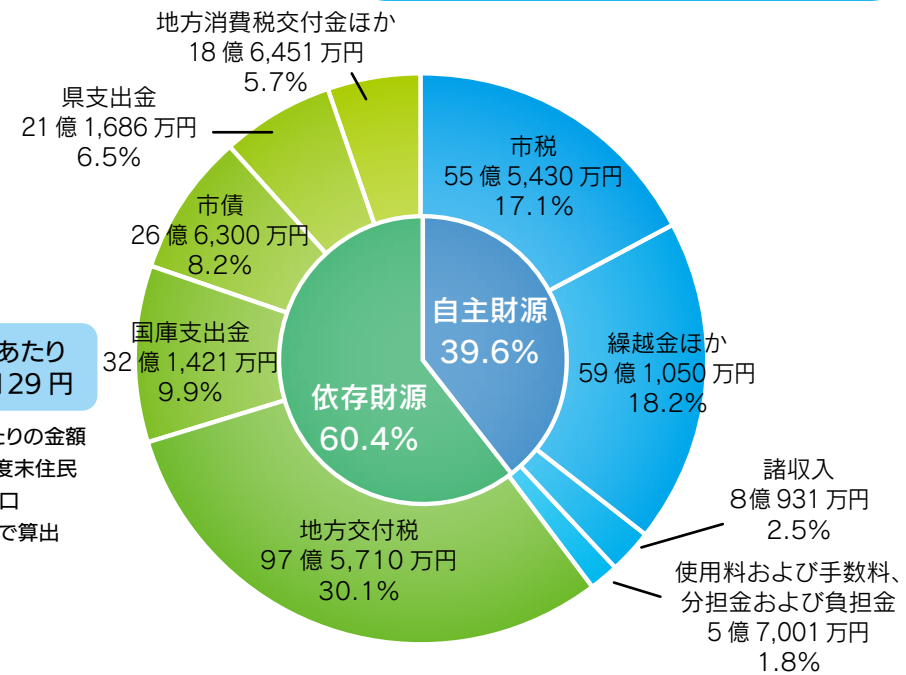
市の会計は「一般会計」と、特定の事業を一般会計から独立した予算で行うために設置される「特別会計」があります。その他、独立採算により特定の事業を行うことを目的に設置される「企業会計」があります。

※一般会計決算状況を「月収 30 万円の家計」に例えた「南あわじ市の家計簿」については、市ホームページに掲載の「令和6年度の決算概要」をご覧ください

歳入 324 億 5,980 万円

市民1人あたり
74 万 8,129 円

※市民1人あたりの金額
は令和6年度末住民
基本台帳人口
43,388 人で算出



決算の概要

令和6年度一般会計の決算額は、歳入が324億5980万円、歳出が315億4469万円でした。そのうち令和7年度へ事業を繰り越して使う財源を差し引いた実質収支は、6億8131万円となり、黒字決算となりました。また、各種財政指数については、国の示す早期健全化基準等の数値を下回る結果となり前年に引き続き健全な財政状況にあります。

今後も市債発行の抑制と自主財源の確保に努め、健全で持続可能な行財政運営を進めてまいります。

歳入は、昨年度と比較して、市税、国庫支出金、市債の減があった一方で、物価高騰対策として実施された定額減税に係る定額減税減収補填特例交付金の皆増による地方特例交付金の増、ふるさと南あわじ応援寄附金を活用した事業費の増に伴う繰入金の増、ふるさと南あわじ応援寄附金の好調による寄附金の増などの影響により全体では0.9%のプラスとなりました。

歳出では、昨年度と比較して、治水総合対策事業や道路橋梁長寿命化事業の増による土木費の増やふるさと南あわじ応援寄附金の好調による諸支出金の増があった一方で、灘黒岩水仙郷リニューアル事業の事業完了による商工費の減や繰上償還

健全化判断比率

指標	南あわじ市		早期健全化基準	財政再生基準
	R6年度	R5年度		
実質赤字比率 (普通会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	12.70	20.00
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	17.70	30.00
実質公債費比率 (借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を見る比率)	12.8	13.0	25.0	35.0
将来負担比率 (市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る比率)	35.5	48.6	350.0	-

※赤字が生じない場合は、「-」と表示

資金不足比率

指標	南あわじ市		経営健全化基準	備考
	R6年度	R5年度		
資金不足比率 (企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る比率)	-	-	20.0	会計ごとに算定

※資金不足が生じない場合は、「-」と表示



詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページをご覧ください。

1 職員の任免および職員数に関する状況

①職員の採用・退職の状況

【採用】令和6年4月～令和7年4月				【退職】令和6年4月～令和7年3月				
事務職	保健師	保育士	計	定年退職	希望退職	普通退職	懲戒免職	計
17人	0人	2人	19人	4人	2人	7人	0人	13人

※採用は競争試験により採用した人数

②職員数の状況(各年度の4月1日現在)

(単位:人)

区分	一般行政部門		特別行政部門		公営企業など				合計
	福祉以外	福祉	教育	消防	病院	水道	下水道	その他	
令和7年度	231	123	74	1	5	10	11	22	477
令和6年度	228	116	78	0	5	10	12	23	472

※水道部門は、淡路広域水道企業団への派遣職員

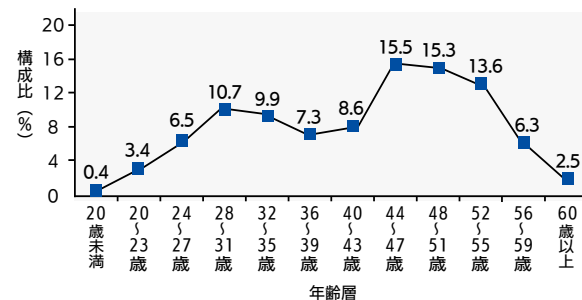
※職員数は、国・県派遣職員を含む全職員数(短時間勤務職員を除く)

市職員の任免や給与の実態をお知らせします。詳細は市ホームページをご覧ください。

図総務課 ☎ 43-5001



③年齢層別職員の構成比(令和7年4月1日現在)



2 職員の給与の状況

①人件費(普通会計決算)

区分	歳出額合計	人件費	人件費率
令和6年度	31,560,976千円	5,332,762千円	16.9%
令和5年度	31,566,284千円	4,987,960千円	15.8%

※人件費には、市長・議員等特別職の給与や報酬などを含む

※人件費率は、普通会計決算額全体に対する人件費の割合

③職員給与費(令和7年度普通会計予算)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
	給料	期末・勤勉手当	職員手当	計(B)	
443人	1,759,696千円	752,154千円	348,088千円	2,859,938千円	6,456千円

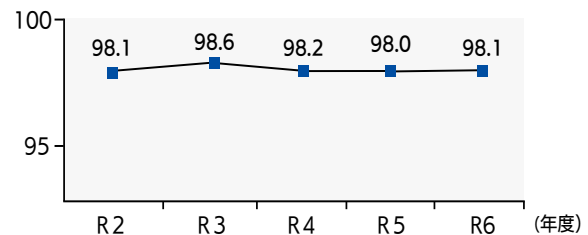
※職員数は令和6年4月1日現在の普通会計に属する職員数(特別職を除く)

②ラスパイレ指数(令和6年度)

南あわじ市	類似団体平均	全国市平均
98.1	97.1	98.6

※ラスパイレ指数＝国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数

※類似団体平均＝人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレ指数を平均したもの



④職員の平均年齢と平均給料月額、平均給与月額(令和7年4月現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	42歳2ヶ月	333,708円	397,143円
技能労務職	54歳10ヶ月	320,273円	361,379円

※平均給与月額＝給料に諸手当を含む

《職員手当の内訳》

扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当、宿日直手当、管理職手当等

⑥一般行政職の級別職員数(令和7年4月1日現在)

区分	主な役職	職員数	構成比
7級	部長	9人	2.0%
6級	副部長・事務局長・課長	48人	10.5%
5級	所長・主幹・副課長・室長	63人	13.8%
4級	係長・参事・主任	160人	35.0%
3級	主査	88人	19.2%
2級	主事	47人	10.3%
1級	事務員	42人	9.2%
計		457人	

※一般行政職＝医師・看護師・技能労務職等の専門職は含まない

⑤期末・勤勉手当(令和6年度実績)、退職手当(令和7年4月1日現在)

期末・勤勉手当支給割合			退職手当支給割合		
支給期	期末手当	勤勉手当	区分	自己都合	希望・定年
6月期	1.225月分	1.025月分	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
12月期	1.275月分	1.075月分	勤続30年	34.7355月分	40.80375月分
合計	2.50月分	2.10月分	最高限度	47.709月分	47.709月分

3 職員のサービスの状況

①年次休暇の取得状況(令和6年1月～12月)

対象人数	総付与日数	総取得日数	取得率	平均取得日数
408人	15,972日	4,627日	29.0%	11.3日

※対象人数は、全期間在職した者とし、育児休業者や休職者等を除く

②育児休業、部分休業の取得状況(令和6年度)

区分	取得者	うち新規取得者
育児休業	13人	12人
部分休業	4人	4人

※これらの休業制度は無給

主な令和6年度事業

大鳴門橋周辺環境整備事業

商工費
5億6,175万円

観光交流人口の増加を目的に、老朽化していた道の駅うずしおのリニューアル工事を実施しています。



泉源開発事業

商工費
1億1,242万円

南あわじ温泉事業協同組合が実施する泉源開発事業の費用を補助しました。



神代地区公民館大規模改修事業

教育費
9,121万円

神代地区公民館の集会室棟の増築などを行う大規模改修事業を実施しました。



学ぶ楽しさ支援センター改修事業

教育費
6,069万円

学ぶ楽しさ支援センターの駐車場舗装工事やB＆G財団の支援を受けて、遊具設置などを実施しました。



淡路ファームパーク・イングランドの丘改修事業

農林水産業費
3,779万円

国生みの館の空調設備の更新やトイレ施設の改修を実施しました。



灘黒岩水仙郷リニューアル事業

商工費
1億7,044万円

令和5年12月にリニューアルした灘黒岩水仙郷の駐車場拡張やトイレ棟の新築を実施しました。



消防施設事業

消防費
9,204万円

消防団が利用する消防車の購入や器具庫などの消防設備整備に対して補助を行いました。



小学校音楽室空調整備事業

教育費
8,886万円

小学校の授業環境改善や熱中症対策のため、市内小学校音楽室に空調の整備を進めています。



淡路人形浄瑠璃館改修事業

教育費
4,050万円

築12年が経過し、老朽化が見られた空調設備の更新などを実施しました。



漁港施設改修事業

農林水産業費
2,596万円

灘漁港機能保全工事や製氷貯水設備等の更新支援などを実施しました。

